

| 芸術科(書道)シラバス   |  | 2単位   | 普通科 第1学年  | 1～4組   |
|---|--|---|---|--|
| 年間の到達目標   | 1. 書道における表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てます。<br>2. 書を楽しむ態度を通して感性を豊かにし、様々な場面に対応する書写能力を高めます。<br>3. 1と2の学習を通して自己を主体的に表現する能力と書の実しさを感取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばしていきます。   |   |   |  |
| 教科書・副教材等  | 書 教育図書   |   |   |  |
| 学期  | 月  | 学習内容(実施予定時数)  | 学習のねらい  |  |
| 4<br>5  | 4<br>5   | 1. オリエンテーション<br>書道の学習について   | 芸術科書道と国語科書写の関連と違い、書の分野、用具、用材について理解します。  |  |
|   |  | 2. 漢字仮名交じりの書の学習<br>用筆による線の違い  | 自由題材で、毛筆の特徴、書写で学習した執筆法、用筆法、漢字と仮名の調和を確認するとともに、毛筆による表現の可能性を探り、全体の構成、用具用材を工夫することで、自分の意図に基づく表現を試みます。                                      |  |
|   |  | 3. 楷書の学習<br>楷書の特徴 さまざまな楷書   | 楷書の古典の学習を基に、古典の臨書と鑑賞の方法を学びます。<br>楷書の書体の特徴(字形・用筆法)を学びます。良く出来た作品を全国学生書道展に出品します。   |  |
|   |  | 中間考査範囲  |   |  |
|   |  | 6<br>7  | 楷書古典の鑑賞と臨書<br>孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘<br>雁塔聖教序 顔氏家廟碑<br>牛橛造像記  | 代表的な楷書古典を鑑賞し、楷書の表現の多様さを理解します。<br>各古典作品についての作者や時代背景を理解するとともに、字形の取り方、線質の表し方と用筆、運筆の関係を学びます。<br>楷書の基本的特徴を把握し、表現の方法を学びます。 |
| 期末考査範囲  |  | 〔備考〕【1学期の評価方法】<br>授業中に制作した作品を毎回提出します。<br>「関心・意欲・態度」「芸術的な感受や表現の工夫」「芸術的な表現の技能」及び「鑑賞の能力」の4つの観点で総合的に評価します。    |   |  |
| 9<br>10   | 4<br>10  | 4. 楷書の学習<br>楷書による創作   | 1学期に学習した楷書の古典を題材とし、修得した技法を生かして創作作品(小型条幅)の制作をします。良く出来た作品を全国学生書道展に出品します。  |  |
|   |  | 5. 行書の学習<br>行書の特徴   | 行書の特徴について理解を深めます。<br>行書の傑作である蘭亭序を他の行書の古典作品と比較し鑑賞し、筆者や時代背景を理解し行書の基本的な用筆法を学びます。   |  |
|   |  | 中間考査範囲  |   |  |
|   |  | 11<br>12  | 蘭亭序の鑑賞と臨書   | 蘭亭序を半紙に全臨する。(毎回、半紙に6字)   |
| 期末考査範囲  |  | 〔備考〕【2学期の評価方法】<br>2学期の学習内容に対して、1学期の評価方法と同様に評価します。   |   |  |
| 1<br>2<br>3   | 6<br>2<br>3  | 6. 仮名の書の学習<br>仮名の成立と発達  | 我が国独自の文字である仮名について、成立過程と字源について理解を深めます。<br>平仮名を中心とした仮名の筆遣いに慣れ、基本的な用筆法を修得します。  |  |
|   |  | 平仮名 変体仮名 連綿   | 仮名の基本的古典の鑑賞と臨書を通じて、作品の構成の仕方を理解します。  |  |
|   |  | 高野切第三種の鑑賞と臨書<br>仮名の散らし書き制作  | 古典の散らし書きを参考にし、臨書作品の制作をします。  |  |
| 学年末考査範囲   |  | 〔備考〕【3学期の評価方法】<br>3学期の学習内容に対して、1、2学期の評価方法と同様に評価します。<br>【学年末の評価方法】<br>(1学期の評価+2学期の評価+3学期の評価)÷3 を評価の原則とします。 |   |  |
| 評価の観点   | 内 容  |   | 評 価 方 法   |  |
| 関心意欲態度  | <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字仮名交じりの書を通して、書写能力を高め、生活に即した書表現に関心を持ち、意欲的、主体的に活動を行いその喜びを味わおうとしているか。</li> <li>漢字の書を通して、書の多様な美しさに関心を持ち、意欲的、主体的に活動を行いその喜びを味わおうとしているか。</li> <li>仮名の書を通して、日本の伝統的な書の美に関心を持ち、意欲的、主体的に活動を行いその喜びを味わおうとしているか。</li> <li>鑑賞活動を通して、書を愛好し日常生活における書への関心を高め、意欲的、主体的にその美しさを味わおうとしているか。</li> <li>後片付けも含めて、用具・用材を正しく取り扱っているか。</li> </ul> |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>提出作品</li> <li>プリントの記入、作品ファイルの整理状況</li> <li>学習活動への参加の仕方や態度・意欲</li> <li>用具の扱い方、片付けの状況</li> </ul> |  |
| 芸術的な感受や表現の工夫  | <ul style="list-style-type: none"> <li>感性を豊かにし、漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書の良さや美しさ、多様性、書表現の特性を感じ取り、創造的な表現を工夫しているか。</li> </ul>   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>提出作品</li> <li>プリントの記入、作品ファイルの整理状況</li> <li>学習活動への参加の仕方や態度・意欲</li> </ul>                        |  |
| 創造的な表現の技能   | <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字仮名交じりの書を通して自己を主体的に表現する能力を伸ばし、実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を身につけているか。</li> <li>漢字の書を通して、自己を主体的に表現する能力を伸ばし、各書体を表現するための基礎的な技能を身につけているか。</li> <li>仮名の書を通じて、自己を主体的に表現する能力を伸ばし、仮名の書を表現するために必要な仮名の筆法の特徴を理解し、基礎的な技能を身につけているか。</li> </ul>   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>提出作品</li> <li>プリントの記入、作品ファイルの整理状況</li> <li>学習活動への参加の仕方や態度・意欲</li> </ul>                        |  |
| 鑑賞の能力   | <ul style="list-style-type: none"> <li>書の美の多様性、書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を幅広く理解し、その良さや美しさを深く味わっているか。</li> </ul>   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>提出作品</li> <li>プリントの記入、作品ファイルの整理状況</li> <li>学習活動への参加の仕方や態度・意欲</li> </ul>                        |  |
| 〔担当者からのメッセージ〕   |  |   |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>技術の習得も大事ですが他人に迷惑をかけない、みんなで共用する用具や備品などを大切にするなど社会的マナーは最低限守るようにしてください。心構えができて初めて書を理解し楽しむことができるようになると思います。皆さんの努力を期待します。</li> <li>「何が出来ているか」より、「何が出来るようになったか」を大切にしたいと思います。1時間の中での進歩、学期を通しての進歩、そして1年間の学習を通しての進歩が感じられるような学習への取り組みを期待します。</li> <li>「書は人なり」と言われるとおり、あなたの心が一番大切で、他者との比較ではなく、あなたがこれまで培ってきた表現技術や鑑賞力をさらに伸ばし、中国、日本の素晴らしい古典より、今まで見たことのない世界を知り、人間性を学び、より自分を磨いてください。作品を書く時の集中力は他のところでプラスになります。他の芸術を理解することも大切です。芸術を愛好する心情を育て、感情を高め、豊かな情操を養ってください。</li> </ul> |  |   |   |  |